



北公審収第1号
令和元年12月23日

北本市長 三宮幸雄様

北本市公共施設等総合管理計画推進審議会
会長 天神良久



公共施設マネジメント実施方針及び適正配置計画の策定について（答申）

令和元年7月30日付け北総契発第103号で諮問のあったこのことについて、下記のとおり答申します。

記

北本市では、1970年ごろからの人口増加に合わせて、公共施設やインフラ施設を整備してきた。これら公共施設等の老朽化が進行している一方で、人口も2005年をピークとして減少が続いている。

本審議会では、公共施設マネジメント実施方針及び適正配置計画の策定にあたって、「北本市公共施設等総合管理計画」の基本方針に基づき、子や孫に負担を残さないよう、公共施設の延床面積を削減しながらも、魅力ある公共施設とするため、市民アンケートや市民ワークショップ等を通じて得た新たな市民ニーズを反映し、別紙のとおり、「1. 公共施設マネジメント実施方針（適正配置方針）」を整理して、学校の利活用、公民館やシンボリック施設等の方向性について、削減目標及び将来費用を鑑みながら、施設機能を維持した「2. 適正配置の方向性」として、以下の3つのプランを提示した。

プラン	配置の考え方	配置イメージ
プラン1 (廃校舎利用型、市民活動交流センター4拠点)	廃校舎を利用して、他施設との複合化を図り、市民活動交流センターを4拠点整備するプラン。	<ul style="list-style-type: none"> ・文化センター ・市民活動交流センター4拠点 ・40年後の学校数(想定) 小学校4校、中学校1校 ※体育センターなし ※活用しない学校数(想定) 3校
プラン2 (公民館重視型)	基本的に各地域の公民館を維持していくことを基本としたプラン。	<ul style="list-style-type: none"> ・文化センター ・公民館6箇所 ・市民活動交流センター1拠点 ・40年後の学校数(想定) 小学校4校、中学校1校 ※体育センターなし ※活用しない学校数(想定) 6校
プラン3 (文化センター、体育センター重視型)	文化センター及び体育センターを維持していくことを基本としたプラン。	<ul style="list-style-type: none"> ・文化センター、体育センター ・公民館1箇所 ・市民活動交流センター2拠点 ・40年後の学校数(想定) 小学校4校、中学校1校 ※活用しない学校数(想定) 5校

更に、それぞれのプランにおける「公共施設マネジメント実施方針(適正配置方針)」及び「適正配置の方向性(配置の考え方・ロードマップ、配置イメージ、メリット・デメリット、将来更新費用、削減目標)」を比較、検討し、以下のとおり順位を決定した。なお、検討過程においては、プラン3のシンボリック施設の利活用やプラン1とプラン2の折衷案の意見もあったが、将来費用における直近の費用負担から、プラン1の支持が圧倒したことを申し添える。

第1順位	プラン1 (廃校舎利用型、市民活動交流センター4拠点)
第2順位	プラン3 (文化センター、体育センター重視型)
第3順位	プラン2 (公民館重視型)

以上により、本審議会は、公共施設マネジメント実施方針及び適正配置計画の策定にあたって、この順位を基に策定すること、そして、実施にあたっては、公共施設利用者の交通手段を確保することや適正配置を実施する順序は東西バランスに配慮することを提言する。